

第 33 回寒川文書館運営審議会

令和 5 年 7 月 6 日 (木) 午前 10 時

於 寒川総合図書館会議室

開会

- 1 委嘱状交付式
- 2 正副会長の互選
- 3 承認委員の指名について
- 4 報告
 - (1) 令和 4 年度寒川文書館事業結果報告 【資料 1】
 - (2) 令和 5 年度寒川文書館事業中間報告 【資料 2】
- 5 議題
 - (1) 刊行物の収集方針について 【資料 3】
- 6 その他

閉会

【資料 1】

令和 4 年度寒川文書館事業結果報告

(1) 文書館運営審議会

○第 31 回会議

開催日 令和 4 年(2022)11 月 17 日
議 題 ・ 令和 4 年度事業中間報告
・ 令和 5 年度事業計画

○第 32 回会議

開催日 令和 5(2023)年 3 月 2 日
議 題 ・ 寒川文書館年報について

(2) 公文書の収集・整理

1) 有期限文書の選別

文書館職員が、保存期間満了文書のなかから歴史的価値を有すると判断し、収集したもの。

年月	箱数	フォルダ数	備考
2022年3月	14	(整理中)	
累計	415	5,830 (2019年以前収集分)	書架延長約170m

※箱は、横 41 cm × 奥 28 cm × 高 33 cm の文書保存箱

2) 永年保存文書の移動

永年保存文書のうち作成から 3 年経過後の文書を本庁地下書庫より文書資料室に搬入した。

年月	箱数	備考
2022年4月	23	
累計	1,041	書架延長426m

(3) 地域資料の収集・整理

1) 資料の寄贈・寄託

○寄贈資料

日付	寄贈者 (敬称略)	点数	主な内容
6月3日	内田武秀	63	田畑御水帳写帳ほか
10月4日	(個人)	1	田端村地租改正絵図

○寄託資料

日付	寄贈者(敬称略)	点数	主な内容
2月3日	本郷正明	約100点	(江戸～昭和初期の土地所有に関する文書)

2) 資料の公開許諾

所蔵者から写真版による公開許諾を得た文書群。

※該当なし

3) 行政刊行物等の収集

年度	購入	寄贈・収集	合計
2022年度	0	128	128
(前年度)	0	322	322
累計	2,188	39,134	41,322

(4) 資料の利用

1) 町職員の利用状況

年度	閲覧件数	閲覧点数	レファレンス件数
2022年度	28	59	32
(前年度)	45	65	49
累計	994	1,814	1,200

2) 開館日数および入館者

休館日は祝日を除く月曜、および年末年始である。

年度	開館日数	入館者数	一日平均
2022年度	306	10,258	34
(前年度)	308	10,060	33
累計	4,862	215,996	43

3) 閲覧

閲覧は資料を出納した件数・点数。開架書架の資料の利用は含まない(「職員の利用状況」の数値を含む)。

年度	閲覧件数	閲覧点数
2022年度	121	440
(前年度)	117	329
累計	3,073	11,059

4) 貸出

複数冊所蔵している行政刊行物については、5冊・2週間を限度に貸し出している。

年度	貸出件数	貸出点数
2022年度	39	90
(前年度)	30	58
累計	913	1,760

5) レファレンス

カウンタ、電話、メール等で資料の利用相談等を受けた件数（「庁内」欄は前掲「職員の利用状況」の数値を再掲）。

年度	庁内	町内	町外	学生	報道	合計
2022年度	32	83	111	18	0	244
(前年度)	50	103	100	22	12	287
累計	1,200	1,809	1,929	463	123	5,524

6) 特別利用

所蔵資料の刊行物への掲載、展示、放映等、特別な利用を行う場合は、特別利用申請書の提出を求めている。

日付	申請者	利用目的	資料
5月24日	(個人)	印刷物	村田家文書(スペイン風邪チラシ)
1月20日	(個人)	印刷物	町史編さん調査写真(生往寺木造閻魔王坐像銘文画像)
2月11日	一之宮東町年番長	行事	稻荷講掛軸
3月8日	海老名市教育委員会	展示	相模線・相模川砂利関係写真

7) 視察の受入れ

日付	団体名	目的
5月1日	佐倉市立佐倉図書館(1名)	施設見学
6月28日	平塚市立博物館(1名)	施設見学
11月9日	静岡県東部地区図書館研究会(12名)	施設見学

(5) 資料の保存

1) 燻蒸

実施時期 令和4年(2022)6月6~9日

実施場所 文書資料室内

実施方法 ビニール天幕64m³の中に資料を入れ、燻蒸剤を投入。

(公財)文化財虫害研究所による効果判定書が提出された。

燻蒸剤 エキヒューム S(酸化エチレン製剤)

施工業者 東化研(株)

2) その他

- ・平成 26 年度より、収蔵庫入り口に埃吸着用の粘着マットを設置。
- ・令和元年度より、施設内にデータロガー（記録計）を設置し温湿度を計測。

(6) 資料の普及

1) 講座

古文書講座

日付	テーマ	参加者	担当
8月20日	江戸時代の戸口の管理	18	平尾
9月17日	知行宛行状と領地目録	13	高木
10月22日	田沼意次への領民の思い	14	平尾
11月19日	村の中の村—宮山村の5組—	14	高木
12月17日	伊勢御師と寒川の村々	11	高木

2) 展示

種別	テーマ	会期	担当
第33回企画展※	梶原景時と一宮館	2022年1月22日～12月28日	高木
第29回ミニ展示	卯年のできごと	2023年1月15日～3月31日	鳥養

※第33回企画展は、令和3年度事業。好評を得たため、会期を12月28日まで延長した。同展の展示説明会を8月21日と同月27日に実施した（計25名参加）。

3) 学校連携

日付	連携先	目的
6月23日	寒川小学校（2年）	施設見学
6月29日	寒川小学校（3年）	施設見学
8月2日	（県立高校生徒4名）※	インターンシップ
8月12日	（高校、小学校教諭各1名）※	教員研修
8月18日	寒川高校（1名）	インターンシップ
11月16日	小谷小学校（2年）	施設見学
11月24・25日	旭小学校（2年）	施設見学
12月8日	茅ヶ崎養護学校（2名）	職場体験
12月10日	東京学芸大学（14名）	施設見学
1月18日	南小学校（2年生）	施設見学
2月7日	（町内小中学校教諭7名）	新採用教員研修

※総合図書館への研修の一環として文書館での実習を行った。

4) ボランティア

写真資料の整理や、展示準備をボランティアとともに実施しているが、現在は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、その活動を中止している。

5) 古文書愛読会

古文書講座の受講生の有志が平成 25(2013)年 8 月に結成したサークル。会場の確保や資料提供等、会の活動の補助を行っている。

活動日 毎月第 3 水曜日 会員数 12 名
講読史料 鈴木猪太郎家文書「布達留」(明治 5 年)

6) 「広報さむかわ」による情報発信

文書館の利用方法や資料の周知を図るため、『広報さむかわ』へ記事を執筆・掲載した。

掲載記事・シリーズ	テーマ	掲載号	担当
写真が語る昔と今	西河原踏切	4月号	高木
	小谷交差点付近	5月号	高木
	一之宮の天満宮	6月号	平尾
	筒井会館	7月号	高木
	中原道	8月号	平尾
	工業団地の道路	10月号	高木
	西寒川駅	11月号	平尾
	相模川左岸用水路と倉見緑道	1月号	高木
	用田踏切	2月号	平尾
	目久尻川と寒川神社二之鳥居	3月号	高木

7) SNSによる情報発信

平成 29 年 (2017) 8 月にツイッターアカウント「samu_archives」を取得し、館業務や、日付にまつわる資料情報を発信している。

※原則、開館日に 1 件の情報を発信している。

※フォロワー数 656 (令和 5 年 3 月末現在)

年度	ツイート数	インプレッション数	新規フォロワー数
2022	335	310,888	107
(前年度)	315	382,795	110

8) 講座・研修等の講師

日付	講座・研修名	テーマ	主催/会場	参加人数	担当
4月13日	新採用職員研修	さむかわの歴史	町人事課/総合図書館	4	平尾

7月2日	梶原景時公小学生 クイズ大会	—	「景時公ノ本躰」実行委 員会／南部公民館	20	高木 平尾
7月10日	「鎌倉殿の13人」 スペシャルトーク IN 寒川	梶原景時の基礎知識 -その生涯と一宮館-	「景時公ノ本躰」実行 委員会／町民センター	800	高木
8月7日	出前講座	自治会文書が語る 戦時下の暮らし	南部公民館／南部公民 館	17	高木
10月15日	出前講座	テレビドラマにみる 寒川と坂東武者	北部公民館／総合図書 館	16	高木
11月3日	開館記念日講座	昭和レトロ広告の愉 しみ	総合図書館	2	高木
11月15日	出前講座	寒川の歴史・大曲の 歴史	大曲おこじゅうの会／ 大曲地域集会所	19	高木
11月25日	秋田県市町村公文 書・歴史資料保存 利用推進会議	地方自治体における 資料保存政策の促進 を図るためにーその 視点と課題ー	秋田県公文書館／オン ライン	—	富田
1月21日	さむかわ歴史クイ ズ大会	—	「景時公ノ本躰」実行 委員会／南部公民館	16	高木 平尾
1月14・22日	新聞から地域の歴 史を再発見！	—	茅ヶ崎市・寒川町広域 連携事業／総合図書館	6	高木

9) 国会図書館レファレンス協同データベースへの事例の登録

令和3年度より、過去に蓄積されたレファレンス（問い合わせ）等の中から、照会頻度の高い質問を選び、レファレンス事例の登録を開始した。

年度	登録件数
2022年度	11
(前年度)	6
累計	17

(7) 刊行物の作成

1) 町史編集委員会の開催

開催日 令和4年(2022)7月13日

内容 ・令和4年度の刊行物について
・刊行物のインターネット公開について

2) 刊行物の発行

刊行物	内容	備考
寒川町史研究 34 号	文書館レポート、資料紹介ほか	3 月 31 日刊行

(8) 職員研修

日程	内容	主催	参加者
8 月 22～26 日	アーカイブズ研修 I (オンライン)	国立公文書館	鳥養

(9) 総合図書館との連携

1) マッチラベルコレクションのデジタル化・公開事業

当館所蔵の三枝惣治氏マッチラベルコレクションをデジタル化し、6,498 点の画像等をインターネット上で公開している。 ※公益財団法人図書館振興財団平成 29 年度提案型助成事業

年度	総アクセス数	トップ画面アクセス数
2022	159,825	5,803
(前年度)	219,209	1,966

2) 図書館・文書館体験ツアー

小中学生を対象として、図書館と文書館の施設見学や、業務体験をしてもらう共催企画。
開催日 8 月 10 日 5 名 (小学生 5 名)

(10) 対外的活動

1) 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 (以下、「全史料協」という)

- ・令和 3 年度より、平尾が全史料協関東部会運営委員を務めている。
- ・参加した会議、研修等は次表のとおり。

日程	内容	開催方式	参加者
6 月 2 日	全史料協関東部会総会・記念講演会「アーカイブズ資源研究の課題」	オンライン	平尾
7 月 22 日	全史料協関東部会定例研究会「AtoM を使ってデータベースをつくる」	オンライン	平尾
7 月 26 日	全史料協総会	オンライン	高木
9 月 16 日	全史料協関東部会定例研究会「公文書管理法下における新潟県内のアーカイブズ動向」	オンライン	平尾
9 月 27 日	全史料協関東部会運営委員会	オンライン	平尾

10月27・28日	全史料協全国大会「公文書管理条例と向き合う公文書館」	オンライン	高木
11月29日	全史料協関東部会定例研究会「公文書館における実習を考える」	オンライン	平尾
12月26日	全史料協関東部会運営委員会	オンライン	平尾
2月22日	全史料協関東部会定例研究会「戦争体験をめぐる記録と記憶の継承を考える」	オンライン	鳥養

2) 神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会（以下、「神史協」という）

令和3年度をもって（旧）神史協は解散した。（新）神史協は、神奈川県立公文書館が主催する会議体組織として発足した。

日程	内容	会場	参加者
1月24日	視察研修会	川崎市市民ミュージアム	高木

3) 国立公文書館

日程	内容	会場	参加者
6月10日	全国館長会議	オンライン	高木

(参考) 年度別利用状況一覧

町職員の利用状況

年度	閲覧件数	閲覧点数	レファレンス件数
2006	2	4	57
2007	51	89	74
2008	37	60	60
2009	32	230	79
2010	42	82	72
2011	76	153	79
2012	54	118	69
2013	86	130	77
2014	74	160	91
2015	106	146	84
2016	66	99	80
2017	69	90	101
2018	77	112	55
2019	62	93	64
2020	78	107	70
2021	45	65	49
合計	957	1,738	1,161

開館日数および入館者数

年度	開館日数	入館者数	一日平均
2006	126	11,961	95
2007	311	16,889	54
2008	308	13,588	44
2009	307	15,626	51
2010	308	12,314	40
2011	308	14,933	48
2012	310	13,659	44
2013	311	13,240	43
2014	308	11,866	39
2015	311	12,369	40
2016	308	12,460	40
2017	308	14,156	46
2018	309	13,396	43
2019	293	11,381	39
2020	248	7,840	32
2021	308	10,060	33
累計	4,682	205,738	44

閲覧件数および点数

年度	件数	点数
2006	37	166
2007	130	319
2008	130	522
2009	127	919
2010	157	536
2011	190	577
2012	175	633
2013	244	686
2014	227	779
2015	288	1,813
2016	244	538
2017	242	806
2018	234	638
2019	219	900
2020	191	458
2021	117	329
合計	2,952	10,619

貸出件数および点数

年度	件数	点数
2006	36	60
2007	79	147
2008	58	99
2009	65	122
2010	102	217
2011	61	112
2012	60	111
2013	57	100
2014	55	95
2015	52	99
2016	45	87
2017	45	80
2018	56	115
2019	51	125
2020	22	43
2021	30	58
合計	874	1,670

レファレンス件数

年度	市内	町内	町外	学生	報道	合計
2006	57	47	86	14	6	210
2007	74	93	105	25	12	309
2008	60	90	111	32	1	294
2009	79	99	123	30	9	340
2010	72	99	97	32	6	306
2011	79	91	115	33	13	331
2012	69	106	95	32	11	313
2013	77	123	107	32	5	344
2014	91	145	133	36	4	409
2015	84	160	127	27	4	402
2016	80	148	162	33	2	425
2017	101	124	132	34	6	397
2018	62	123	131	18	3	337
2019	64	91	114	34	10	313
2020	69	84	80	11	19	263
2021	50	103	100	22	12	287
累計	1,168	1,726	1,818	445	123	5,280

Twitter

年度	ツイート数	インプレッション数	プロフィールへのアクセス	新規フォロワー数
2017	178	245,398	—	87
2018	316	417,806	—	98
2019	309	565,403	2,796	122
2020	319	637,762	9,206	120
2021	315	382,795	47,280	110
累計	1,437	2,249,164	59,282	537

【資料 2】

事業計画	実施／実施予定
1. 館運営（館全体に関わる課題）	
(1)引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じ、町の感染症対策の動向も踏まえつつ、通常の利用環境が維持できるよう努める。	閲覧時間および来館者数の制限を解除し、コロナ以前の閲覧対応を行っている。
(2)「寒川町総合計画2040」では「郷土教育の推進」のため「文書館資料保存活用事業」を実施するよう位置づけられている。この趣旨に沿って、資料の保存や普及事業に努める。	実施中
(3)2022年度から第2期目の指定管理の期間が始まった。施設管理および文書館の事業開催などにあたっては、引き続き総合図書館と連携を図る。	▼月1回の定例打合せに参加し、情報を共有している。 ▼12月17日開催予定の図書館祭に参加予定。
(4)2023年度に図書館システムの更新が行われる。ここに搭載されている文書館資料の検索システムの再編も必要になるため、具体的な作業を行う。	三菱ITソリューションズ（株）と契約し、構築に向けた協議を進めている。 ○文書館の構築体制 収蔵資料管理検索システム…担当平尾 図書館システム…担当富田 ○2023年10月1日から供用開始予定 ○システム入れ替えにともなう休館（全館） 9月18日～10月5日
2. 歴史的公文書に関する業務	
(1)2022年度から全庁的に公文書管理システムが導入された。その評価選別を行う方法を引き続き検討する。	総務課行政管理担当およびOEC（株）と引き続き協議し、2023年中に運用方針を定める。
(2)保存期間が満了した文書のうち、資料的価値があると判断したものを収集し、その目録を作成する。また、各部署から受け入れ要請のあった文書、資料については随時受け入れを行う。	2024年3月に保存期間満了を迎える2013年度（10年保存）・2018年度（5年保存）・2020年度（3年保存）文書の選別にむけて、準備を行う。
(3)歴史的公文書の保存公開に向けた諸課題を整理し、役場組織内の理解を得ながら、選別や公開の基準を定めるなどの作業を進める。	総務課行政管理担当と文書取扱規程の改定に向けた協議を行う。

3. 地域資料に関する業務	
(1)古文書など地域資料の寄贈、寄託について、随時その受け入れを行う。	▼寄贈 6件 ▼寄託 1件 ▼資料公開許諾 1件
(2)寄贈、寄託資料の収蔵目録を整備する。	収蔵資料検索システムと同時進行で整備作業を行う。
(3)文書館刊行物収集方針に基づき、町内外の刊行物の適切な収集に努める。	◎協議事項
4. 資料の保存に関する業務	
(1)新規に収集した資料を燻蒸する。	2023年6月13日～16日にかけて実施した（134箱）。
(2)開架書架や書庫などの清掃に努め、資料保存環境の適性維持を図る。	実施中
5. 利用普及に関する業務	
(1)レファレンス記録の分析に基づき、役場職員向けの利用案内を作成し、役場内利用の促進を図る。	実施方法の検討中
(2)問い合わせ頻度の高いレファレンス事例について、国立国会図書館のレファレンス協同データベースに登録するとともに、一般利用者向けに資料の探し方を解説した用紙（パスファインダー）を作成するなど、文書館利用のさらなる普及を図る。	作業中
(3)収蔵資料の利用を促進するため、古文書講座を開催する。また、外部からの講師派遣依頼にも随時対応し、文書館利用に関する啓発を行う。	2023年10月～2月（全5回）に開催予定
(4)企画展を2本開催する。	▼「寒川の給食（仮題）」 会期（予定）2023年10月17日～2024年3月31日 ▼「関東大震災100年（仮題）」 会期（予定）2023年10月17日～2024年3月31日
(5)ミニ展示「辰年のできごと」を開催する。	会期（予定）2024年1月13日～3月31日
6. 刊行物の編集・発行	
(1)『寒川町史研究』第35号	2024年3月31日刊行予定
(2)『寒川文書館絵はがきシリーズ』の売り切れ分の再発行	2023年9月刊行予定（第1集を再販）

令和5年度寒川文書館事業中間報告

(1) 文書館運営審議会

○第33回会議

開催日 令和5年(2023)7月6日

議 題 ・ 令和4年度寒川文書館事業結果報告
・ 令和5年度寒川文書館事業中間報告
・ 刊行物の収集方針について

○第34回会議

開催日 令和6(2024)年2月(予定)

議 題 ・ 令和5年度事業中間報告
・ 令和6年度事業計画

(2) 公文書の収集・整理

1) 有期限文書の選別

文書館職員が、保存期間満了文書のなかから歴史的価値を有すると判断し、収集したもの。

年月	箱数	フォルダ数
2023年3月	11	(整理中)
累計	426	5,830 (2019年以前収集分)

2) 永年保存文書の移動

永年保存文書のうち作成から3年経過後の文書を本庁地下書庫より文書資料室に搬入した。

年月	箱数
2023年4月	16
累計	1,057

(3) 地域資料の収集・整理

1) 資料の寄贈・寄託

○寄贈資料

日付	寄贈者(敬称略)	点数	主な内容
4月5日	江刺昭子	167	『武相の若草』
4月6日	須藤カズエ	1	写真(一番街商店会)
5月9日	(個人)	1	『下大曲神社』

5月11日	濱田和敏	6	昭和40年全日本ソフトボール選手権大会プログラムほか
5月28日	楠谷護	13箱	近世～近代の典籍類ほか
6月25日	宮山馬場町内会	71	馬場衛生講資料

2023年6月末日時点

○寄託資料

日付	寄贈者（敬称略）	点数	主な内容
5月9日	本郷正明	11	近代の証書類ほか

2023年6月末日時点

2) 資料の公開許諾

所蔵者から写真版による公開許諾を得た文書群。

日付	寄贈者（敬称略）	点数	主な内容
5月12日	濱田和敏	90	昭和40年代の写真アルバム帳

2023年6月末日時点

3) 行政刊行物等の収集

年度	購入	寄贈・収集	合計
2023年度	0	1	1
(前年度)	0	128	128
累計	2,188	39,135	41,323

2023年6月末日時点

(4) 資料の利用

1) 町職員の利用状況

年度	閲覧件数	閲覧点数	レファレンス件数
2023年度	11	24	12
(前年度)	28	59	32
累計	1,005	1,838	1,212

2023年6月末日時点

2) 開館日数および入館者

休館日は祝日を除く月曜、および年末年始である。

年度	開館日数	入館者数	一日平均
2023年度	72	2,162	30
(前年度)	306	10,258	34
累計	5,060	218,158	43

2023年6月末日時点

3) 閲覧

閲覧は資料を出納した件数・点数。開架書架の資料の利用は含まない（「職員の利用状況」の数値を含む）。

年度	閲覧件数	閲覧点数
2023年度	29	96
(前年度)	121	440
累計	3,102	11,155

2023年6月末日時点

4) 貸出

複数冊所蔵している行政刊行物については、5冊・2週間を限度に貸し出している。

年度	貸出件数	貸出点数
2023年度	3	5
(前年度)	39	90
累計	916	1,765

2023年6月末日時点

5) レファレンス

カウンタ、電話、メール等で資料の利用相談等を受けた件数（「庁内」欄は前掲「職員の利用状況」の数値を再掲）。

年度	庁内	町内	町外	学生	報道	合計
2023年度	12	26	23	2	3	66
(前年度)	32	83	111	18	0	244
累計	1,212	1,835	1,952	465	126	5,590

2023年6月末日時点

6) 特別利用

所蔵資料の刊行物への掲載、展示、放映等、特別な利用を行う場合は、特別利用申請書の提出を求めている。

日付	申請者	利用目的	資料
4月20日	タウンニュース社	出版	「タウンニュース」寒川版第1号
4月21日	(個人)	講座	佐藤稔家文書(沼田頼輔書簡)
6月30日	座間市教育委員会	展示	木内家所蔵写真(開業後間もない寒川駅)

2023年6月末日時点

(5) 資料の保存

1) 燻蒸

実施時期 令和5年(2023)6月13~16日

実施場所 文書資料室内

実施方法 ビニール天幕 64m³の中に資料を入れ、燻蒸剤を投入。

(公財)文化財虫害研究所による効果判定書が提出された。

燻蒸剤 酸化エチレン製剤(エキヒュームS)

施工業者 東化研(株)

2) その他

- ・平成26年度より、収蔵庫入り口に埃吸着用の粘着マットを設置。
- ・令和元年度より、施設内にデータロガー(記録計)を設置し温湿度を計測。

(6) 資料の普及

1) 講座

古文書講座

開催時期: 10月~2月(予定)

開催場所: 図書館会議室

募集人数: 20名

2) 展示

種別	テーマ	会期	担当
第34回企画展	関東大震災100年(仮)	2023年10月17日~3月31日(予定)	高木
第35回企画展	寒川の給食(仮)	2023年10月17日~3月31日(予定)	富田
第30回ミニ展示	辰年のできごと	2024年1月~(予定)	鳥養

3) 学校連携

日付	連携先	目的
6月8日	寒川小学校(2年)	施設見学

4) 古文書愛読会

古文書講座の受講生の有志が平成25(2013)年8月に結成したサークル。会場の確保や資料提供等、会の活動の補助を行っている。

活動日 毎月第3水曜日 会員数 12名

講読史料 鈴木猪太郎家文書「布達留」(明治5年)

5) 「広報さむかわ」による情報発信

文書館の利用方法や資料の周知を図るため、『広報さむかわ』へ記事を執筆した。

掲載記事・シリーズ	テーマ	掲載号	担当
写真が語る昔と今	尋常一之宮小学校	4月号	平尾
卯年のできごと	一之宮愛児園	6月号	高木

6) SNSによる情報発信

平成29年(2017)8月にツイッターアカウント「samu_archives」を取得し、館業務や、日付にまつわる資料情報を発信している。※原則、開館日に1件の情報を発信している。

※フォロワー数 666 (2023年6月末現在)

年度	ツイート数	インプレッション数	新規フォロワー数
2023年度	76	58,540	11
(前年度)	335	310,888	107

2023年6月末日時点

7) 講座・研修等の講師

日付	講座・研修名	テーマ	主催/会場	参加人数	担当
4月6日	出前講座	寒川にも戦争があった	湘南ゆりの会/町民センター	24	高木
4月11日	新採用職員研修	さむかわの歴史	町人事課/総合図書館	12	平尾
4月18日	出前講座	大岡家と下大曲神社庚申塔	大曲おこじゅうの会/大曲地域集会所	22	高木

8) 国会図書館レファレンス協同データベースへの事例の登録

令和3年度より、過去に蓄積されたレファレンス(問い合わせ)等の中から、照会頻度の高い質問を選び、レファレンス事例の登録を開始した。

年度	登録件数
2023年度	0
(前年度)	11
累計	17

(7) 刊行物の作成

1) 町史編集委員会の開催

開催日 2023年8月(予定)

内容 ・令和5年度の刊行物について

2) 刊行物の発行

刊行物	内容	備考
寒川町史研究 35号	(調整中)	2024年3月31日刊行予定

(8) 総合図書館との連携

1) マッチラベルコレクションのデジタル化・公開事業

当館所蔵の三枝惣治氏マッチラベルコレクションをデジタル化し、6,498点の画像等をインター

ネット上で公開している。 ※公益財団法人図書館振興財団平成 29 年度提案型助成事業

年度	総アクセス数	トップ画面アクセス数
2023 年度	9,558	1,217
(前年度)	159,825	5,803

2023 年 6 月末日時点

2) 図書館・文書館体験ツアー

小中学生を対象として、図書館と文書館の施設見学や、業務体験をしてもらう共催企画。

開催日（予定） 8 月 10 日

(9) 対外的活動

1) 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（以下、「全史料協」という）

- ・令和 3 年度より、平尾が全史料協関東部会運営委員を務めている。
- ・令和 3 年度より、富田が全史料協広報広聴委員会委員を務めている。
- ・参加した会議、研修等は次表のとおり。

日程	内容	会場	参加者
5 月 23 日	全史料協臨時総会	オンライン	高木
6 月 2 日	全史料協関東部会総会・記念講演会 「公文書管理の制度化：意思決定と 文書保存の狭間で」	武蔵野スイングホー ル	平尾
6 月 2 日	全史料協広報広聴委員会	神奈川県立公文書館	富田

2) 神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会（以下、「神史協」という）

令和 3 年度をもって（旧）神史協は解散した。（新）神史協は、神奈川県立公文書館が主催する会議体組織として発足した。

日程	内容	会場	参加者
(未定)	(未定)	(未定)	

3) 国立公文書館

日程	内容	会場	参加者
6 月 9 日	全国公文書館館長会議（アーキビストの育 成・輩出・採用・配置）	ベルサール九段 (オンラインで参加)	伊藤 平尾 高木

【資料3】

刊行物の収集方針について

1、現行の収集方法

- ▼各機関および各課からの提供
- ▼廃棄刊行物よりの収集

2、現行の収集方法における課題

- ①刊行物の収集方針を定めず収集したことで、刊行物を体系的に収集できていない
- ②開架書架の飽和状態
- ③開架書架の環境整備
→開架書架のスペースは開館時のみ空調が稼働。刊行物の飽和状態も相俟って、一部にカビが発生

3、改善策

- 課題①②に対して
刊行物収集方針を策定する
⇒「寒川町刊行物収集方針（案）」 〈2頁～3頁に掲載〉
＝同方針にもとづいて、刊行物を体系的に収集

- 課題③に対して
収集方針にもとづかないものは、除籍基準に則り除籍作業を実施
※「刊行物除籍基準」 〈4頁に掲載〉

寒川町刊行物収集方針（案）

（趣旨）

第1条 寒川文書館管理運営規則（平成18年寒川町規則第38号）第2条第1号の規定に基づき、寒川町に関する刊行物を収集保存し、一般の利用に供するため、必要な方針を定めるものとする。

（基本方針）

第2条 寒川町の記録として必要な刊行物の収集を行い、適切な保存環境のもとで保存し、後世に伝える。

（収集の範囲）

第3条 収集する範囲は、次の各号に掲げるものとする。

(1) 寒川町情報公開条例（平成11年寒川町条例第24号）第2条第2号の規定する実施機関が作成したもの

(2) 寒川町に所在する事業所、団体及び個人が作成したもの

(3) 寒川町と関係する事業所、団体及び個人が作成したもの

(4) 神奈川県及び神奈川県内の市町村が作成したもの

(5) その他保存上必要と認めるもの（別表1）

2 ただし、前項に規定する範囲の刊行物であっても、収蔵場所及び将来的な利用の見通し等を勘案し収集の対象としない場合はこの限りでない。

（収集資料の種類）

第4条 収集するものの種類は、次の各号に掲げるものとする。

(1) 一般刊行物（事業報告、計画書等）

(2) 逐次刊行物（新聞、雑誌、広報紙等）

(3) 掲示用刊行物（ポスター、チラシ）

(4) 配布用刊行物（パンフレット、リーフレット等）

(5) 地図

(6) 電磁的記録（DVD、CD等）

(7) 簡易製本等により冊子媒体と成したもの

(8) その他収集の必要があると認める媒体

（収集方法及び収集数）

第5条 刊行物の収集は、次の各号に掲げる方法による。

(1) 提出

(2) 寄贈

(3) 購入

(4) その他前各号に準ずる方法により収集する。

2 収集数は、第3条第1項第1号から第3号に関するものは貸出用、館内閲覧用の2部とし、その他のものは1部とする。

(補則)

第6条 この方針に定めるもののほか、必要な事項は館長が別に定めるものとする。

別表1 (第3条関係)

その他保存上必要と認めるものの範囲は、原則として次の通りとする。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">(1) 国及び地方公文書館等のアーカイブズ機関が作成したもの(2) 地方自治体史及びそれに類するもの(3) 自治体史編さん室紀要及び事業年報類(4) 神奈川県外に所在する博物館等施設の作成した図録類(5) 神奈川県に所在する大学が作成したもので、アーカイブズ・歴史・民俗に関するもの(6) 姉妹都市である寒河江市が作成したもの(7) その他、寒川町に関連する記述を含むもの |
|--|

刊行物の除籍基準

1. 趣旨

図書検索システムの更新（日立製作所から三菱電機への移行）に伴い、図書・刊行物の蔵書点検を実施中である。これに関連して、開架書架における図書・刊行物の配置を見直し、書架の環境改善（これまでのように、隙間なく収納することでカビの発生をもたらしることが無いように適宜棚に空き地を設けることによる通気促進）を図るため、図書・刊行物の利用頻度も考慮し、概ね次の基準に該当する一部の図書・刊行物について選別除籍を行う。

（１）時の経過、社会状況の変化により、新たな学術的見解、法令・規則・基準等の改正、新しい統計数値が掲載されていないなど、相対的に古くなった情報を含むもの

【例】『統計六法（平成６年版）』、『教育小六法 平成８年版』、『全国美術館ガイド』

（２）刊行年から相当年数を経過し、総合図書館２階参考図書において類書を確認できるもの

【例】『教育学事典』

（３）インターネット上での検索ができる図書目録、文献情報、並びにインターネット上で刊行物と同じ情報を取得することが確認できるもの

【例】『神奈川県刊行物目録』、『資料情報』、『神奈川県温泉地学研究所報告』

（４）事業や講座案内など、当該年度の予定が掲載されたもの

【例】『研修講座案内２０１０』、『県立保健福祉大学募集要項』

（５）神奈川県外の地方公共団体が刊行した埋蔵文化財発掘報告書、博物館年報類

（６）その他、他公共図書館での所蔵が認められる、図書そのものの劣化が激しいなど文書館では今後も頻繁な利用が見込まれないもの

2. 選別除籍の範囲

・参考図書、神奈川県、神奈川県外の区市町村、大学、一般の図書・刊行物

・寒川町、神奈川県内市町村、及び文書館に関する図書・刊行物は、選別除籍の対象としない。

寒川文書館運営審議会委員名簿

任期 令和5年6月29日～令和7年6月28日

選出区分	氏名	備考
町立小中学校長 (1名)	毛 藤 まゆみ	一之宮小学校校長
寒川町史編集委員会委員 (1名)	内 海 孝	東京外国語大学名誉教授
学識経験を有する者 (1名)	小 川 千代子	国際資料研究所代表
ボランティア又は資料所蔵者 (1名)	中 西 正 史	寒川神社権祢宜
公募による町民 (1名)	名 取 龍 彦	

(令和5年6月29日現在)

寒川文書館職員名簿

職名	氏名
総務課長兼館長	伊藤 正治
主査	平尾 直樹
主任主事(再任用)	高木 秀彰
資料取扱専門員	鳥養 圭美
資料取扱専門員	富田 健司

(令和5年4月1日現在)